

2021年9月28日

各 位

会社名 株式会社 イード
代表者名 代表取締役 宮川 洋
(コード:6038、東証マザーズ)
問合せ先 執行役員 管理本部 本部長 久岡 千恵
(TEL. 03-6635-0000)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時 2021年8月25日 13:30~14:30
開催方法 対面による実開催
開催場所 日本証券アナリスト協会 兜町平和ビル 第3セミナールーム
東京都中央区日本橋兜町3-3
説明会資料名 2021年6月期 (FY6/21) 通期 決算補足説明資料

【添付資料】

1. 説明会において使用した資料

株式会社 イード

「2021年6月期（FY6/21）」
通期 決算補足説明資料

2021年8月13日

iid



- ① 21年6月期 通期業績の概要
と 今後の見通し P.2
- ② 事業セグメントと基本戦略 P.17
- ③ 22年6月期に向けた取組み P.27
- ④ 基本情報 P.35



1

21年6月期 通期業績の概要
と 今後の見通し

P.2

2

事業セグメントと基本戦略

P.17

3

22年6月期に向けた取組み

P.27






4

基本情報

P.35

売上高および当期純利益※ は過去最高を更新

(当期純利益は2Qに実施した連結子会社株式の一部売却の影響等を含む)

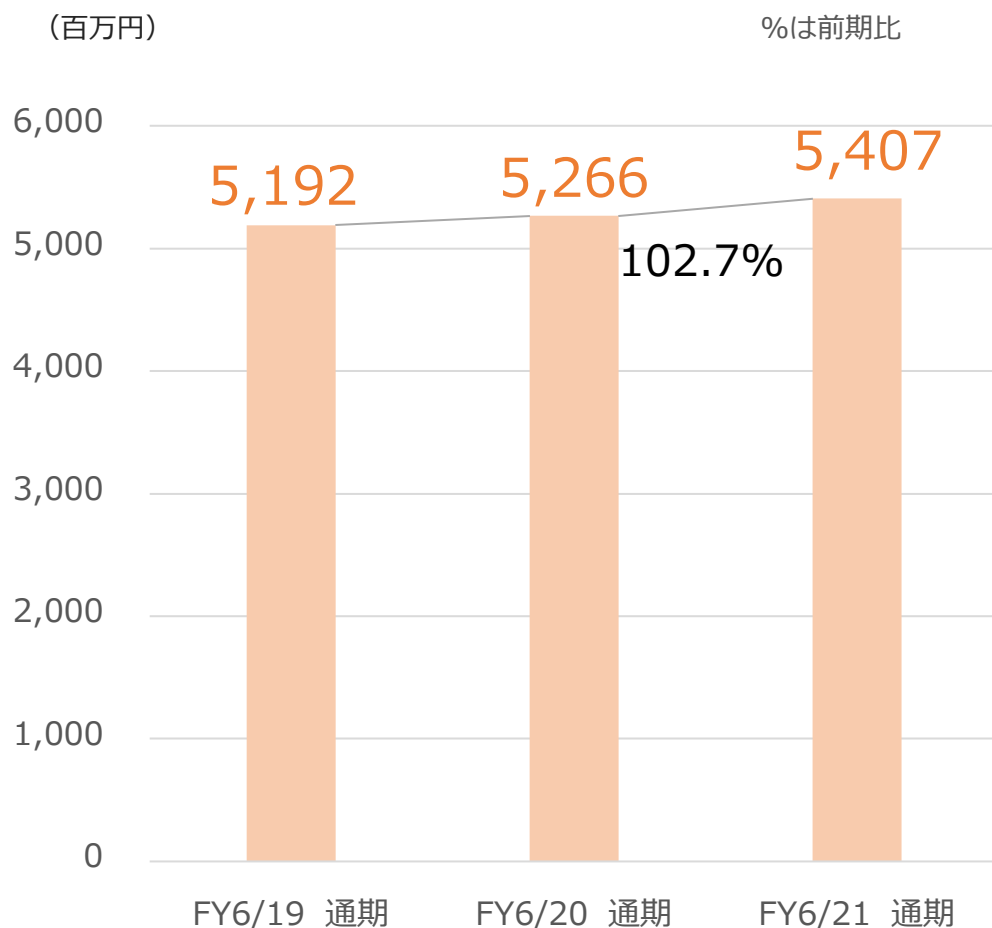
	FY6/20_ 通期	FY6/21_ 通期	前期比
売上高	5,266	5,407	 102.7%
売上原価	2,922	2,960	101.3%
売上総利益	2,344	2,446	 104.3%
販売費及び一般管理費	2,029	1,991	98.1%
営業利益	315	454	 144.1%
営業利益率	6.0%	8.4%	+ 2.4pt
経常利益	277	464	 167.2%
当期純利益	104	464	 446.5%

(百万円)

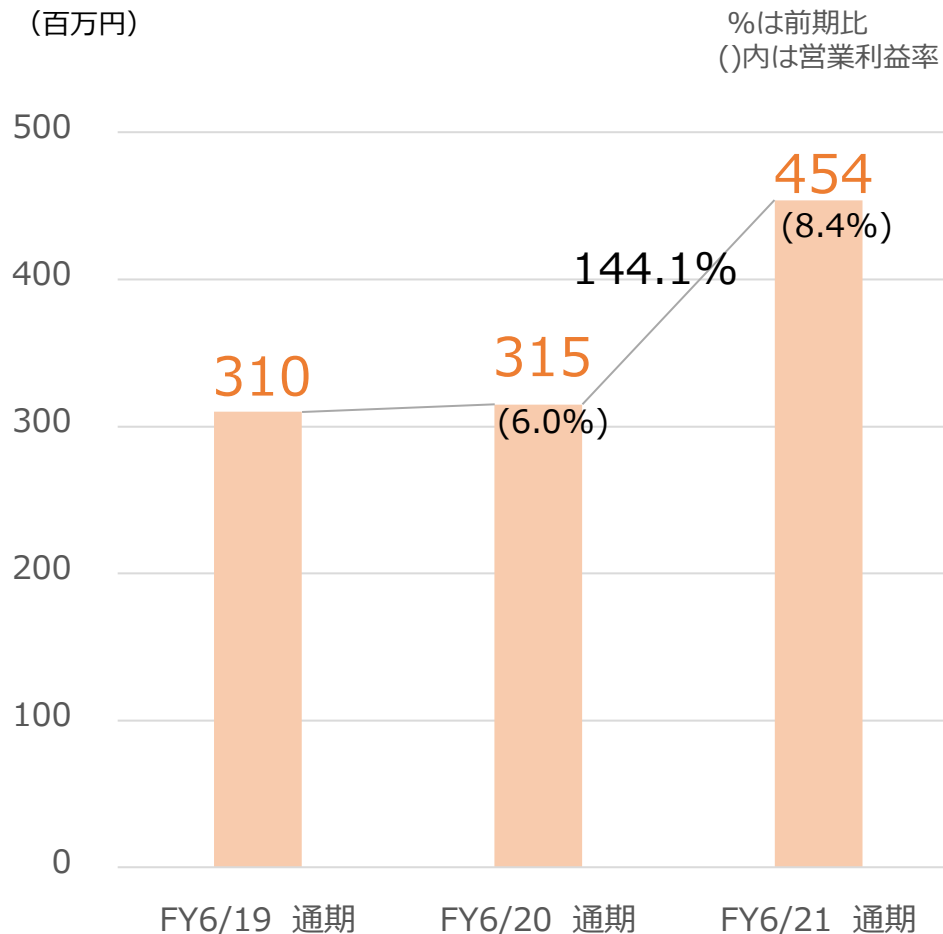
※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のこと

売上高は堅調に推移 営業利益は前期比144.1%と大幅な増加

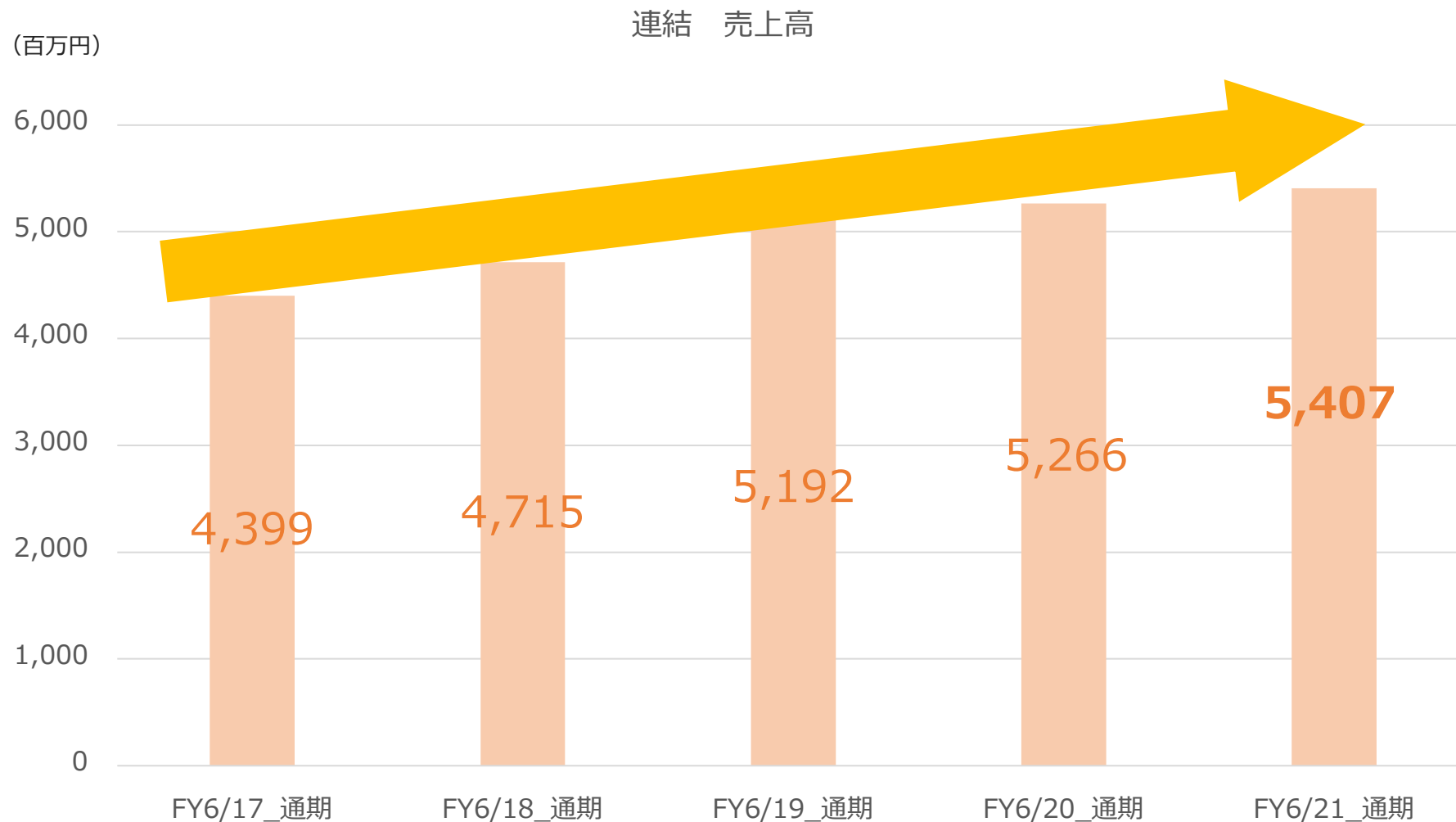
連結 売上高



連結 営業利益

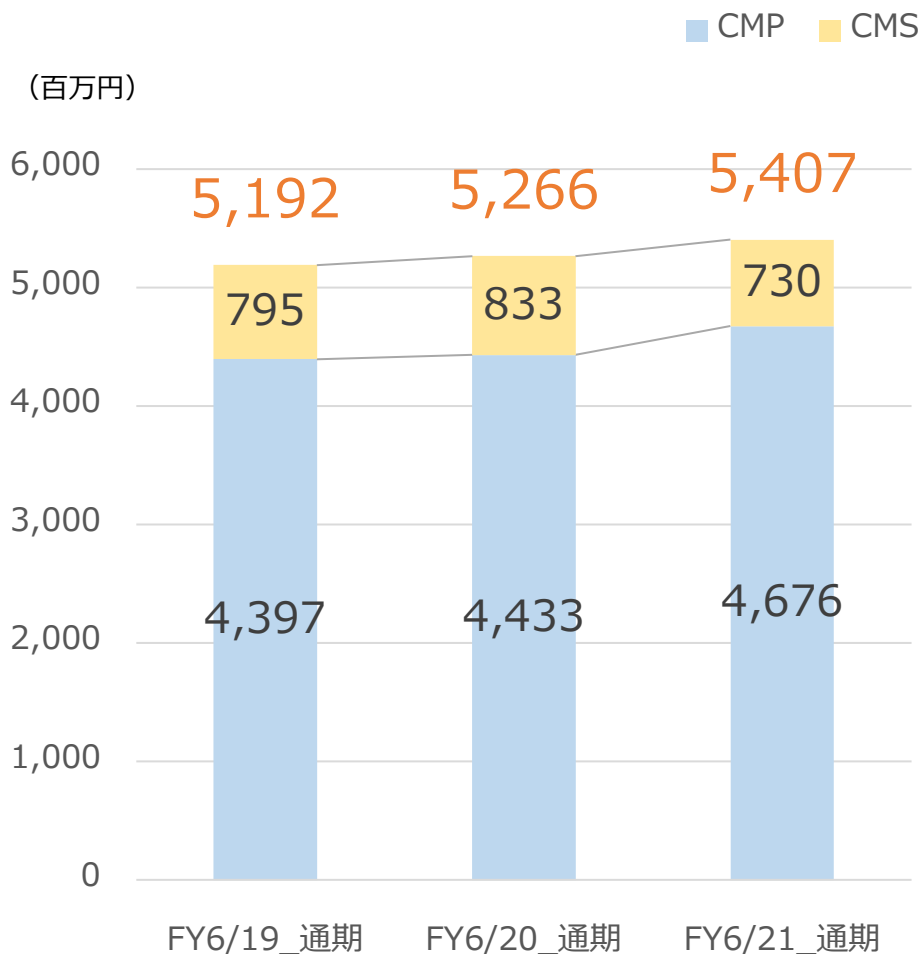


連結売上高は、引き続き過去最高を更新

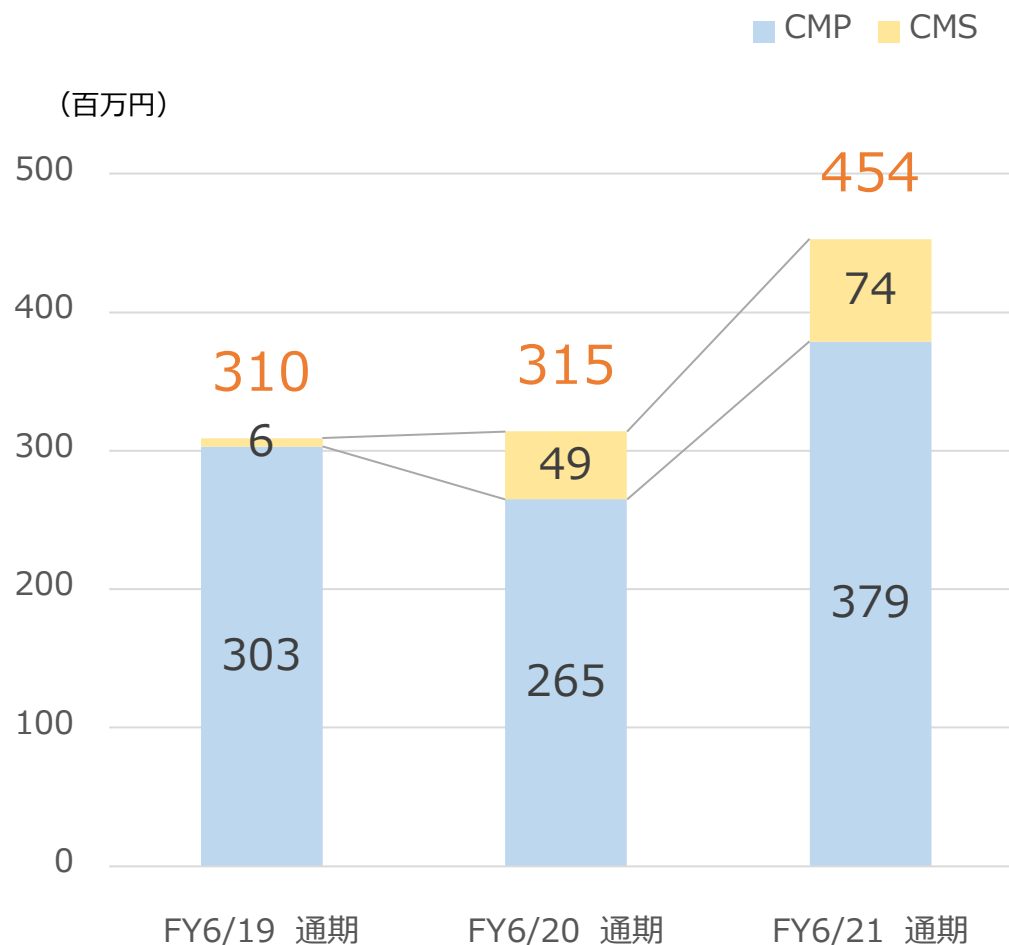


売上高、営業利益ともに従来どおりCMPが連結全体を牽引

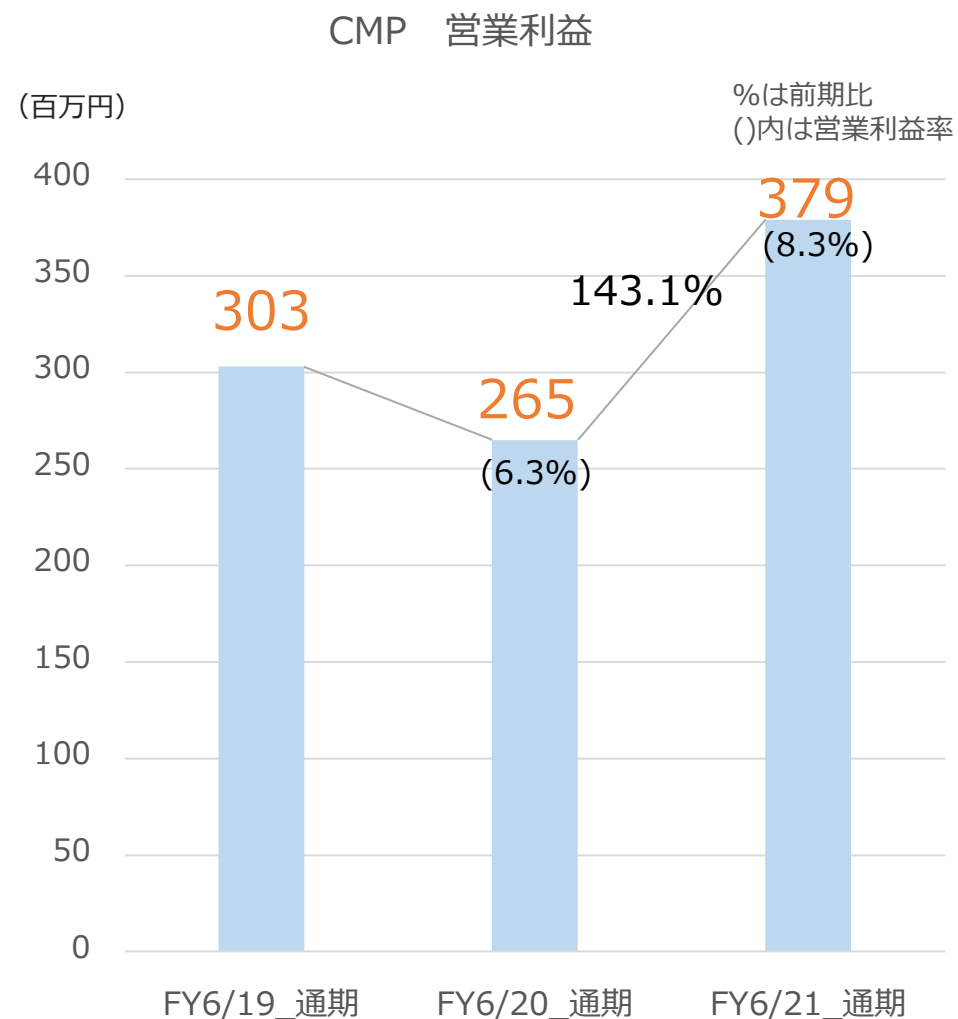
連結 売上高



連結 営業利益



売上高、営業利益ともに堅調



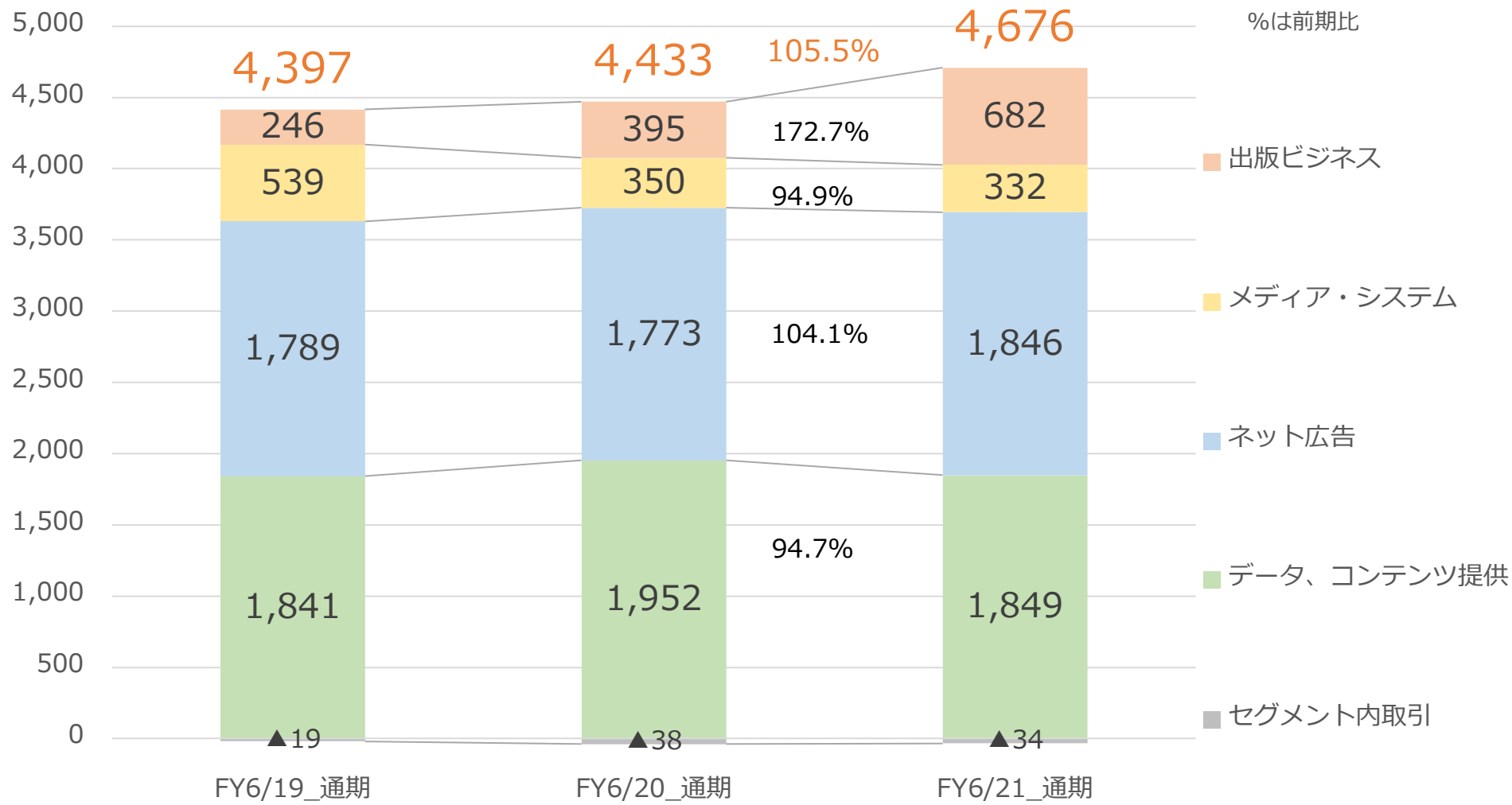
上期はデータ・コンテンツ提供が牽引、下期はネット広告が回復基調となり増加

※データ・コンテンツ提供は、下期に絵本ナビが連結から外れたため減少

CMP事業 RD別売上高推移

(百万円)

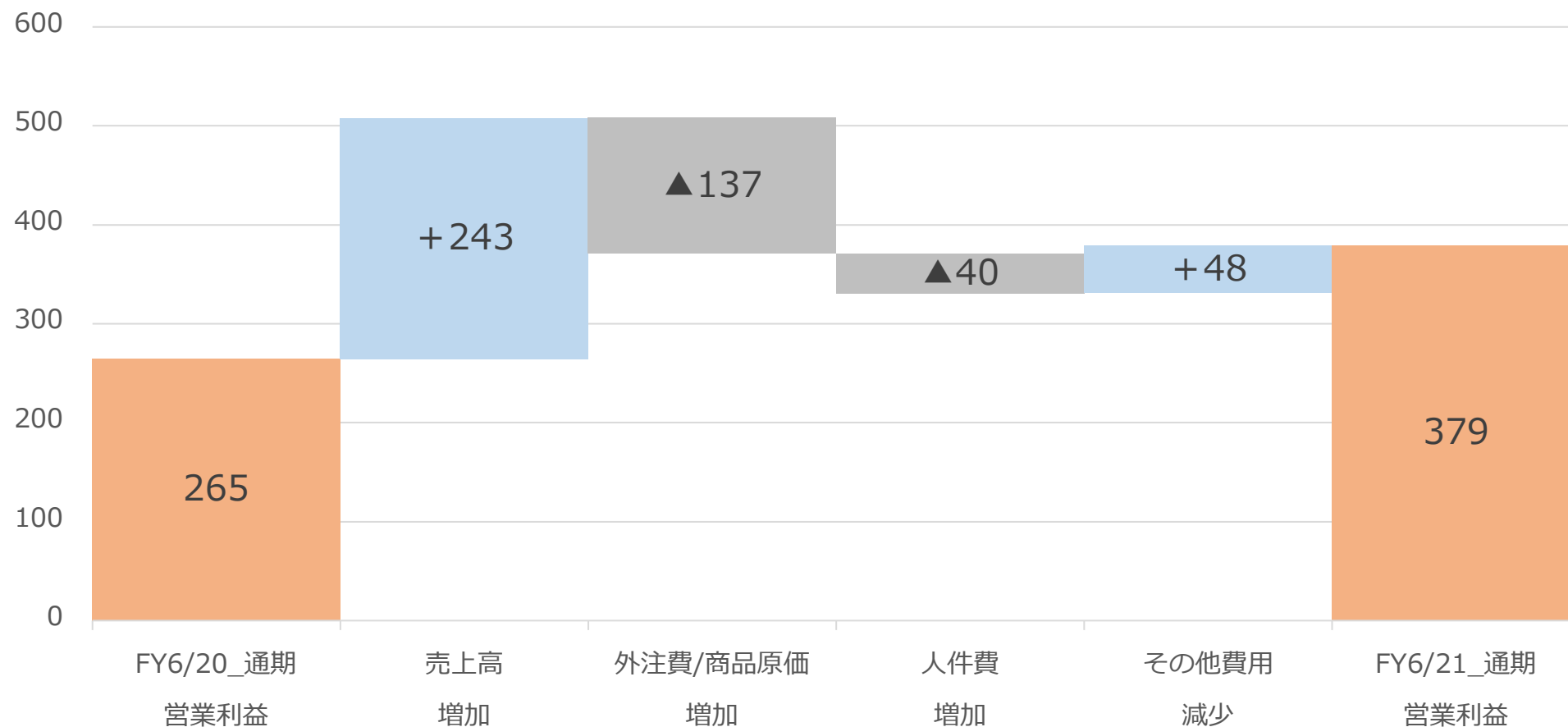
%は前期比



売上高の増加に伴い外注費／商品原価が増加 その他費用は家賃コスト削減等による減少

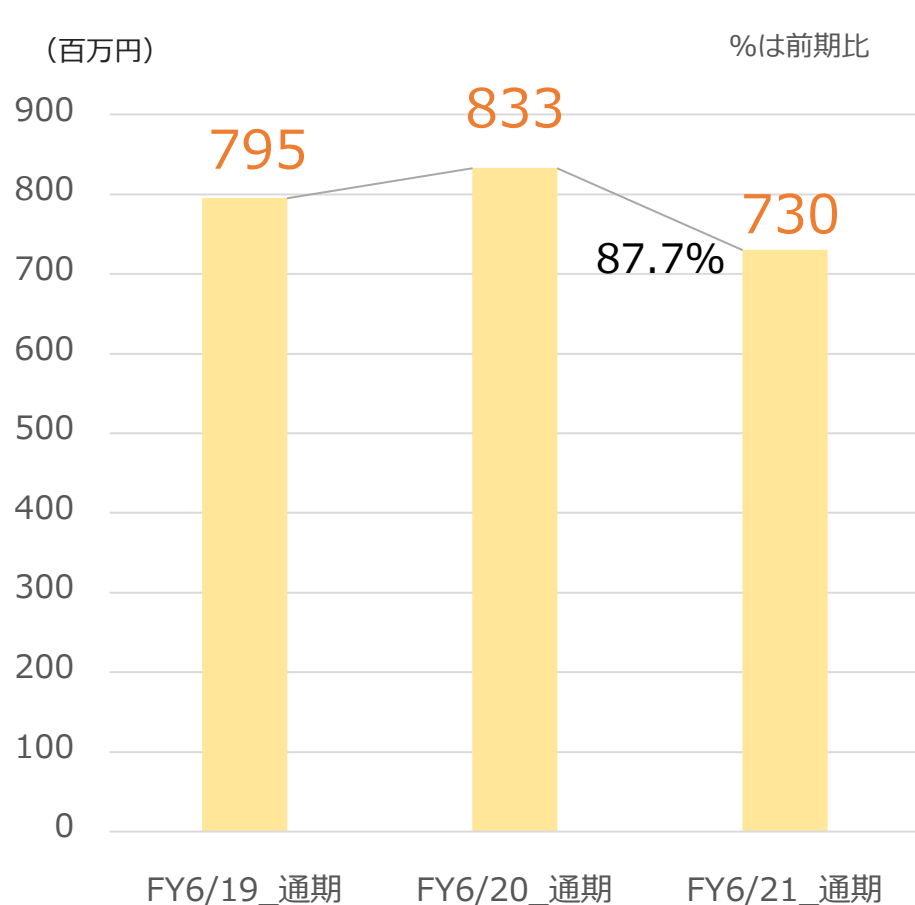
(百万円)

営業利益 前期比増減要因

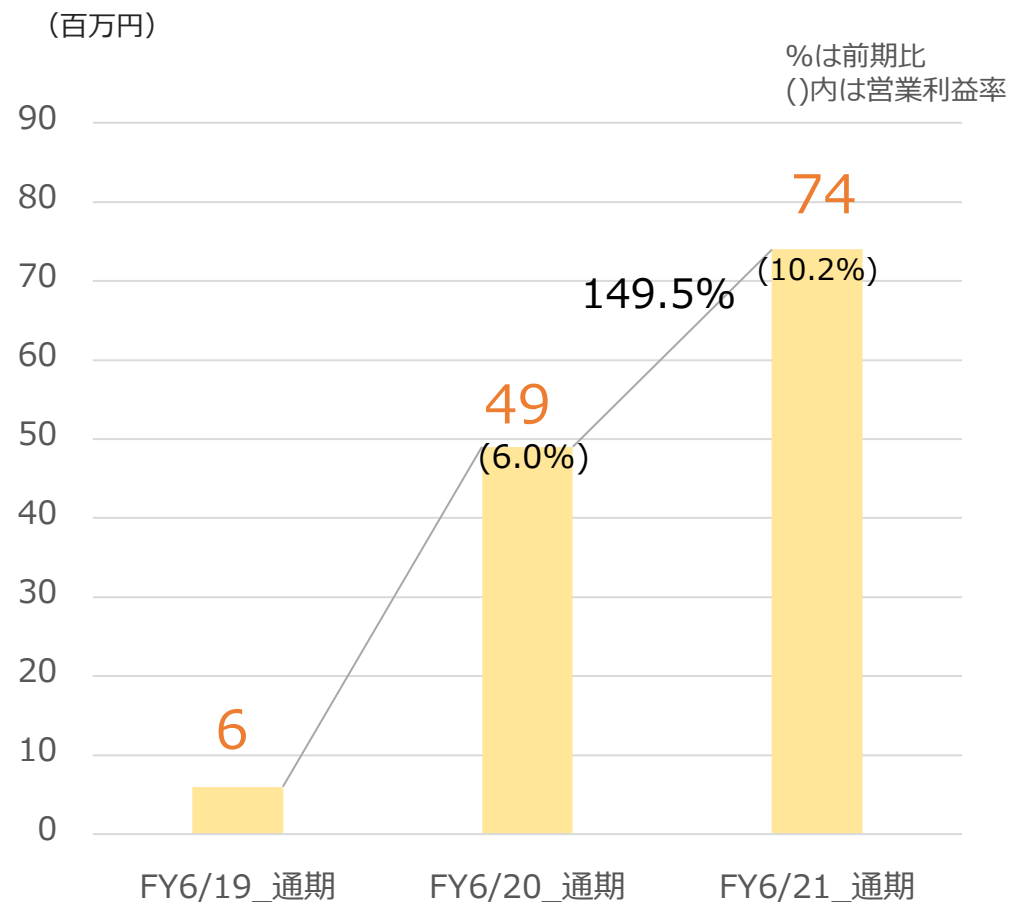


前期は大型案件があったため、売上高は減少したが、営業利益および利益率は改善 CMSの営業利益としては過去最高

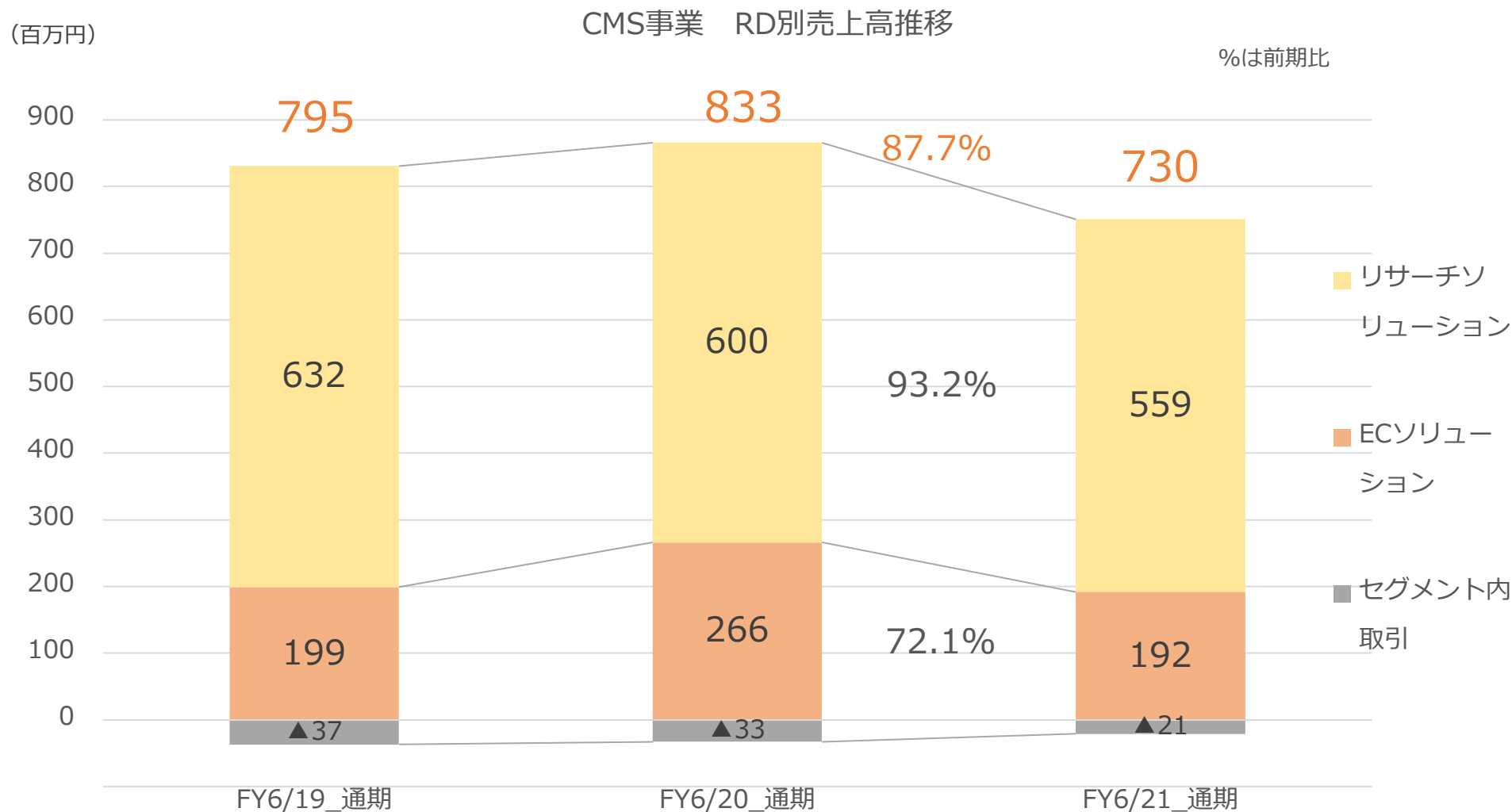
CMS 売上高



CMS 営業利益



リサーチ・ECソリューションとともに、前期より大型案件の受注が減少（リサーチは主にコロナの影響による）



当期純利益※の堅調な積み上げにより利益剰余金が増加し、 純資産は増加

(百万円)

	FY6/20 期末	FY6/21 期末	増減額
流動資産	3,062	3,918	+856
現金及び預金	2,014	2,928	+914
固定資産	916	805	▲111
資産合計	3,978	4,724	+746
流動負債	859	922	+63
固定負債	150	353	+203
負債合計	1,009	1,275	+266
株主資本	2,895	3,385	+490
利益剰余金	1,174	1,639	+465
自己株式	▲35	▲29	+6
その他の包括利益累計額	1	1	+0
非支配株主持分	72	61	▲11
純資産	2,969	3,448	+479
負債・純資産	3,978	4,724	+746

※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のこと

営業活動でCFを着実に稼ぎつつ、M&Aを含む戦略投資を実施

(百万円)

	FY6/20	FY6/21	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	360	375	+15
投資活動による キャッシュ・フロー	▲442	157	+599
財務活動による キャッシュ・フロー	570	355	▲214
現金及び現金同等物に 係る換算差額	0	25	+25
現金及び現金同等物に 係る増減額	488	913	+425
現金及び現金同等物の 期末残高	2,014	2,928	+914

■CMP・CMSセグメントの主要RDへのコロナの影響（4Q）

ネット広告	○	◆4月から6月にかけて3回目の緊急事態宣言発出となったが、元々4Qは広告出稿意欲が低く、その中では比較的安定的に推移
データコンテンツ提供(含EC物販)	○	◆「巣ごもり消費」から始まったEC利用拡大は定着化 ※EC物販事業は、絵本ナビが連結から外れたため4Qは前期を下回る
出版ビジネス	○	◆「巣ごもり」の影響で、アニメ雑誌・パズル雑誌が好調維持
ECソリューション	○	◆急激なECシフトを受けて、EC開設や機能向上の支援が好調
リサーチソリューション	○	◆コロナ下でのオンラインリサーチ手法の確立により安定化

※各セグメント・各RDとも**バランス良く好調であった**

■今後の見通し




新型コロナウイルス感染症は、2021年7月以降、急激な感染拡大の局面となっており、今後も一定の事業領域においては、引き続き影響は継続するものと考えられるものの、過去1年半の経験を踏まえることで、その影響度合いを見極め、適切に対処していく



2022年6月期の業績予想は、次ページの通り

営業利益、経常利益は2ケタ増加を目指していく

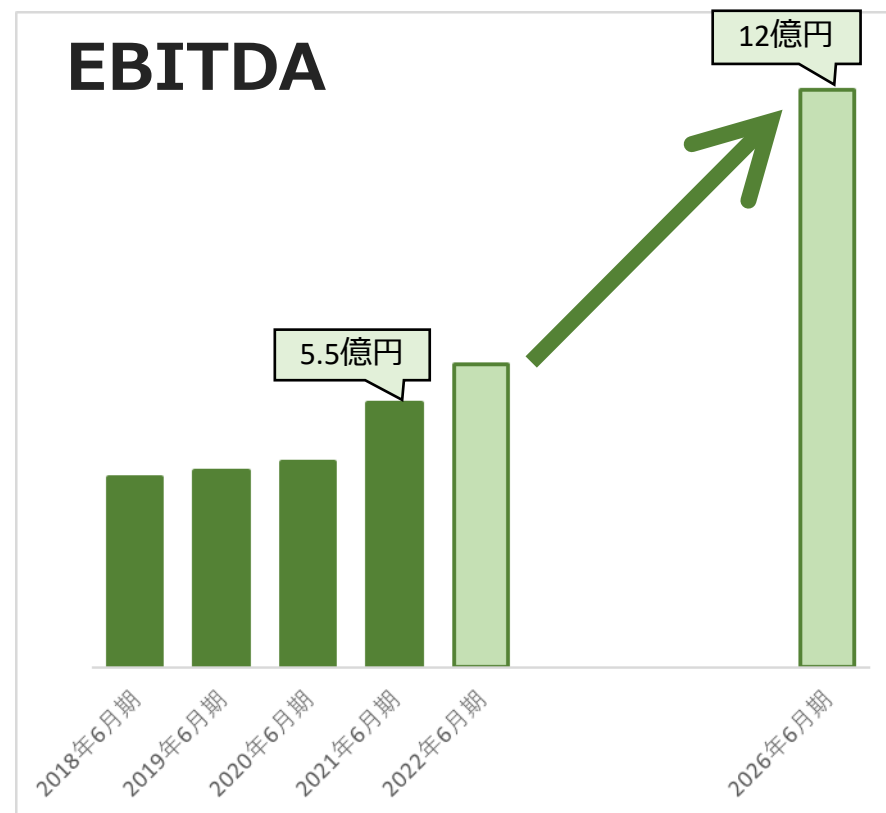
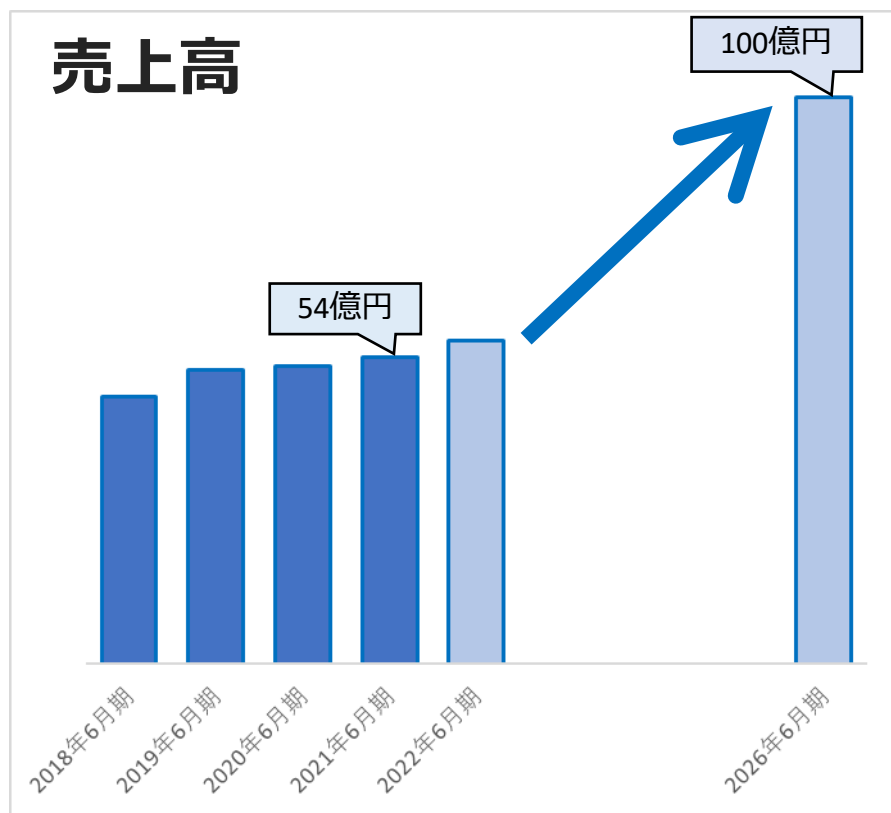
(百万円)

	FY6/22 業績予想		FY6/21 通期	
	業績予想	前期比	実績	前期比
売上高	5,700	 105.4%	5,407	102.7%
営業利益	530	 116.6%	454	144.1%
経常利益	530	 114.2%	464	167.2%
当期純利益	350	75.3%	464	446.5%

※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

5年後(2026年6月期)の 連結売上高100億円、連結EBITDA12億円を目指す

CMP事業セグメントを主軸に、積極的にM&Aや事業開発を進めることで、手がけるメディアや事業の領域を拡大するとともに、各領域でのビジネスモデルを多角化し、事業機会と収益の多様化・最大化を目指す



※EBITDA=営業利益+減価償却費 (連結のれん償却費含む)

1 21年6月期 通期業績の概要
と 今後の見通し P.2

2 事業セグメントと基本戦略 P.17

3 22年6月期に向けた取組み P.27

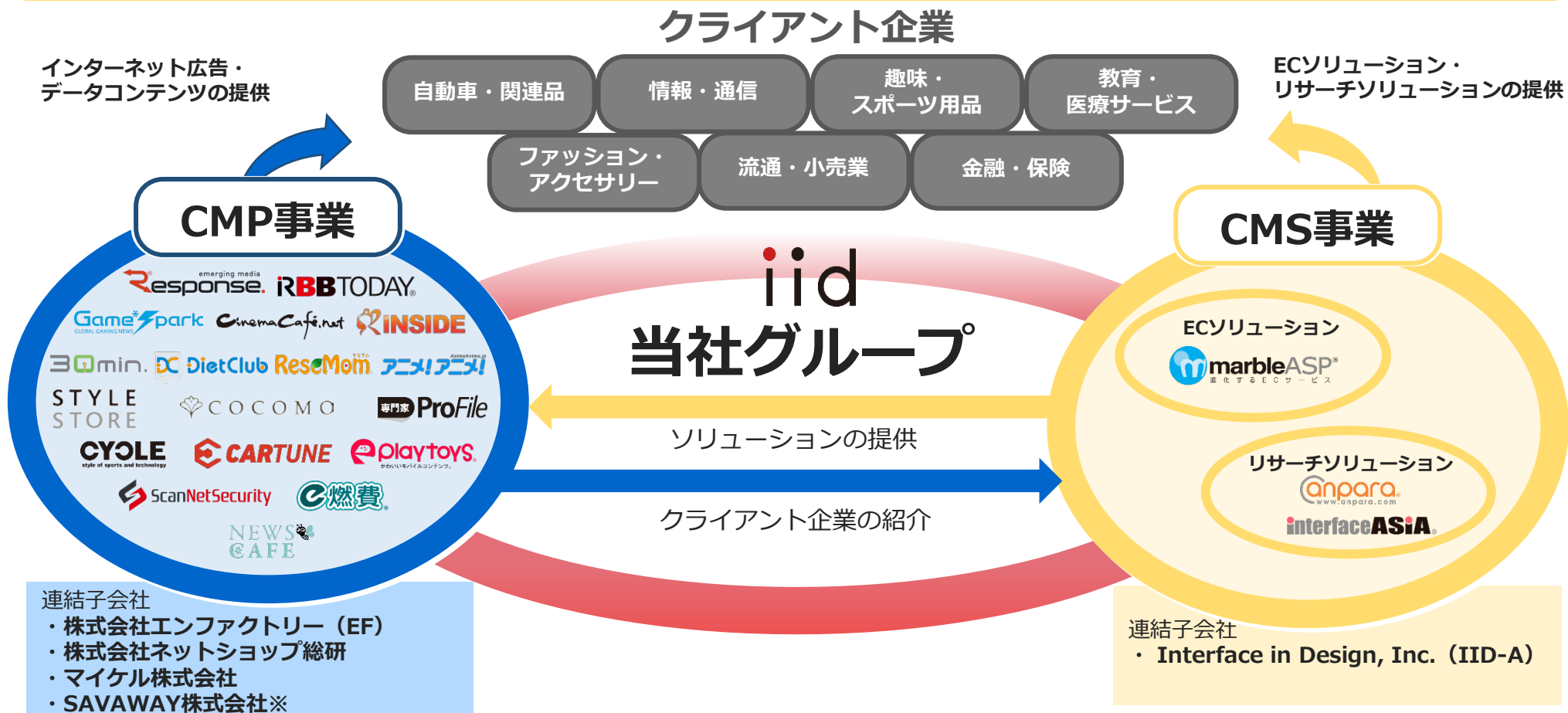
4 基本情報 P.35



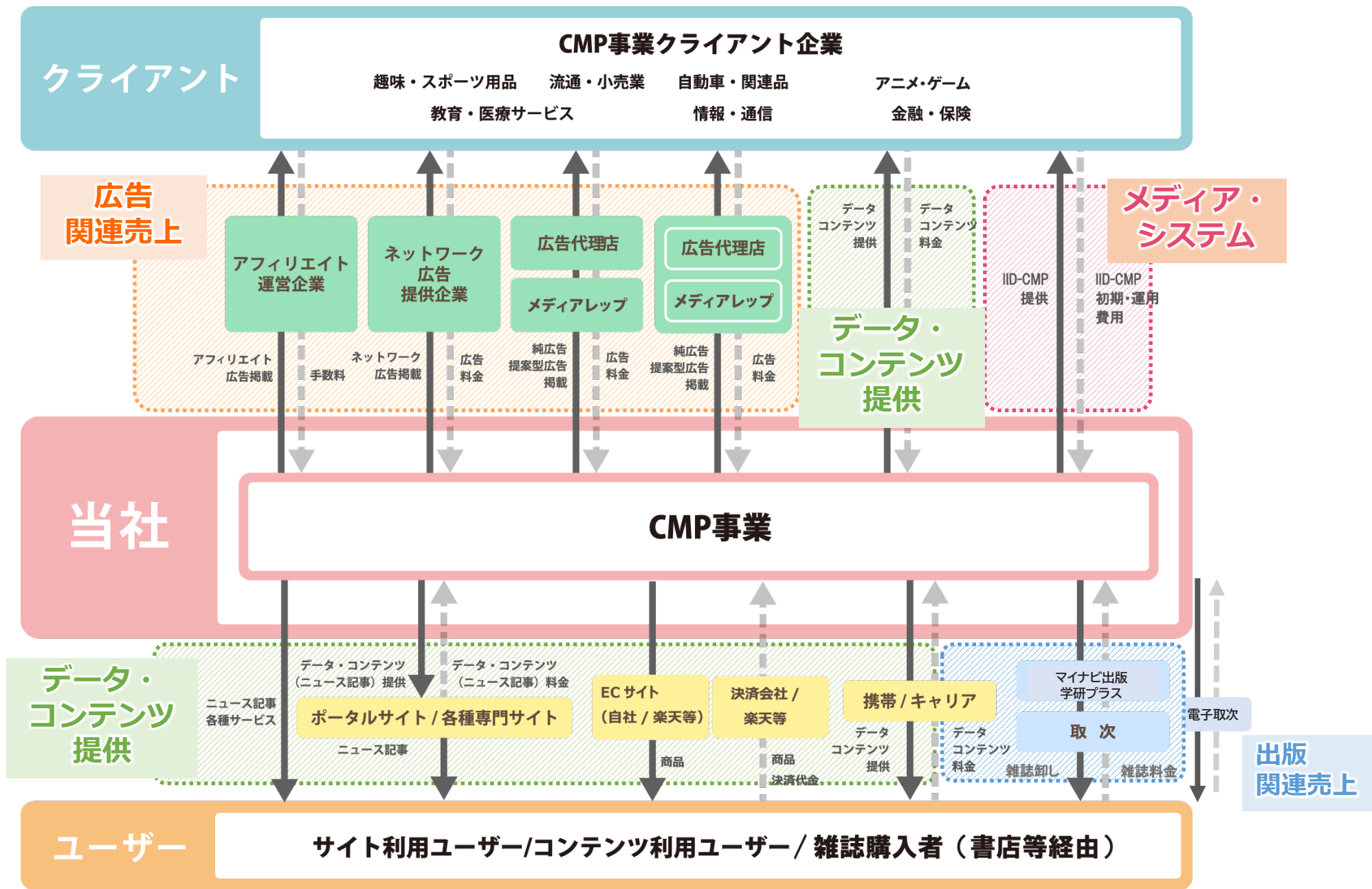
・ 2つのセグメントにて事業を展開

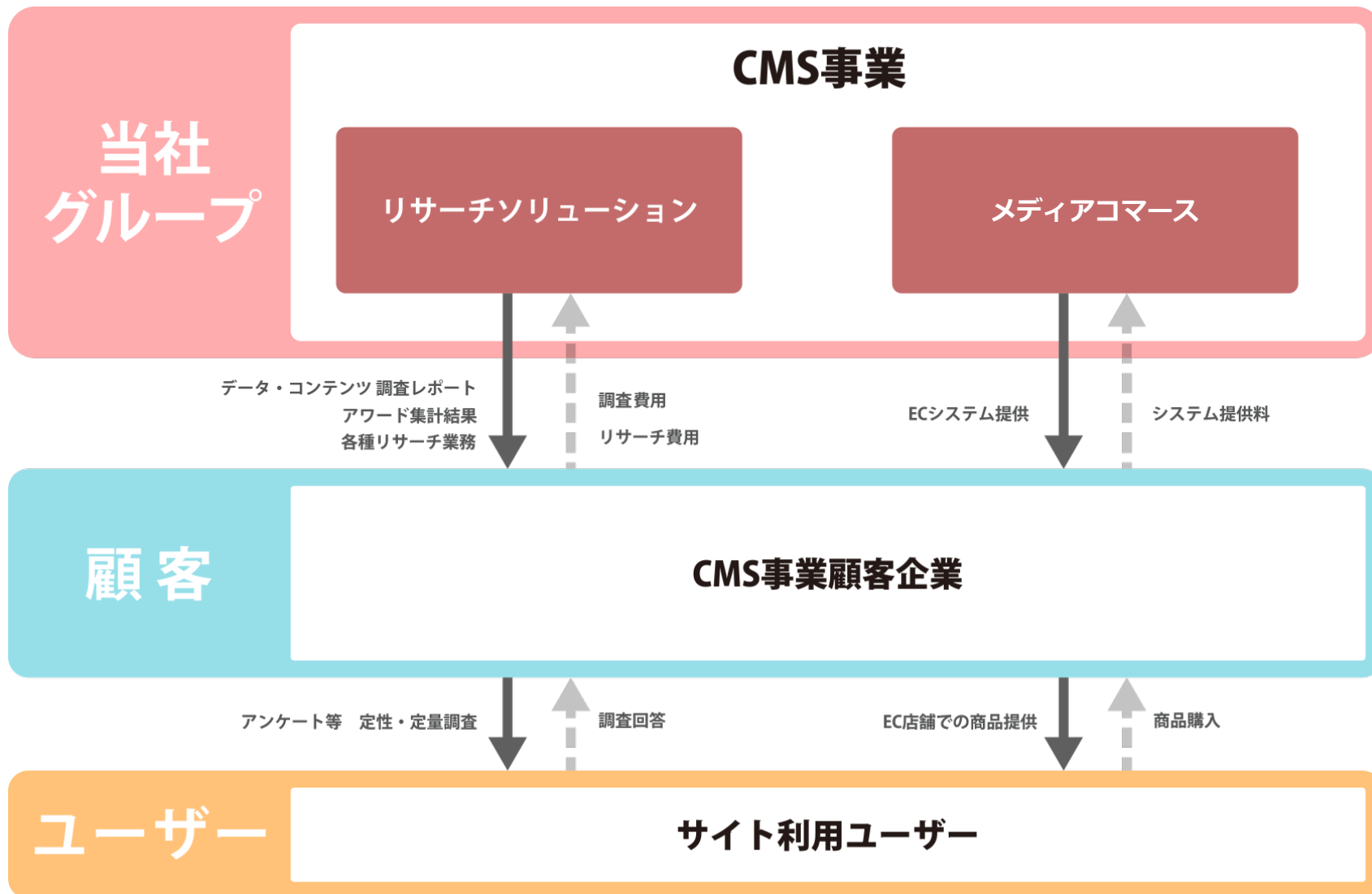
コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）：Webメディア、Webサービス運営

コンテンツマーケティングソリューション事業（CMS事業）：ソリューションを提供



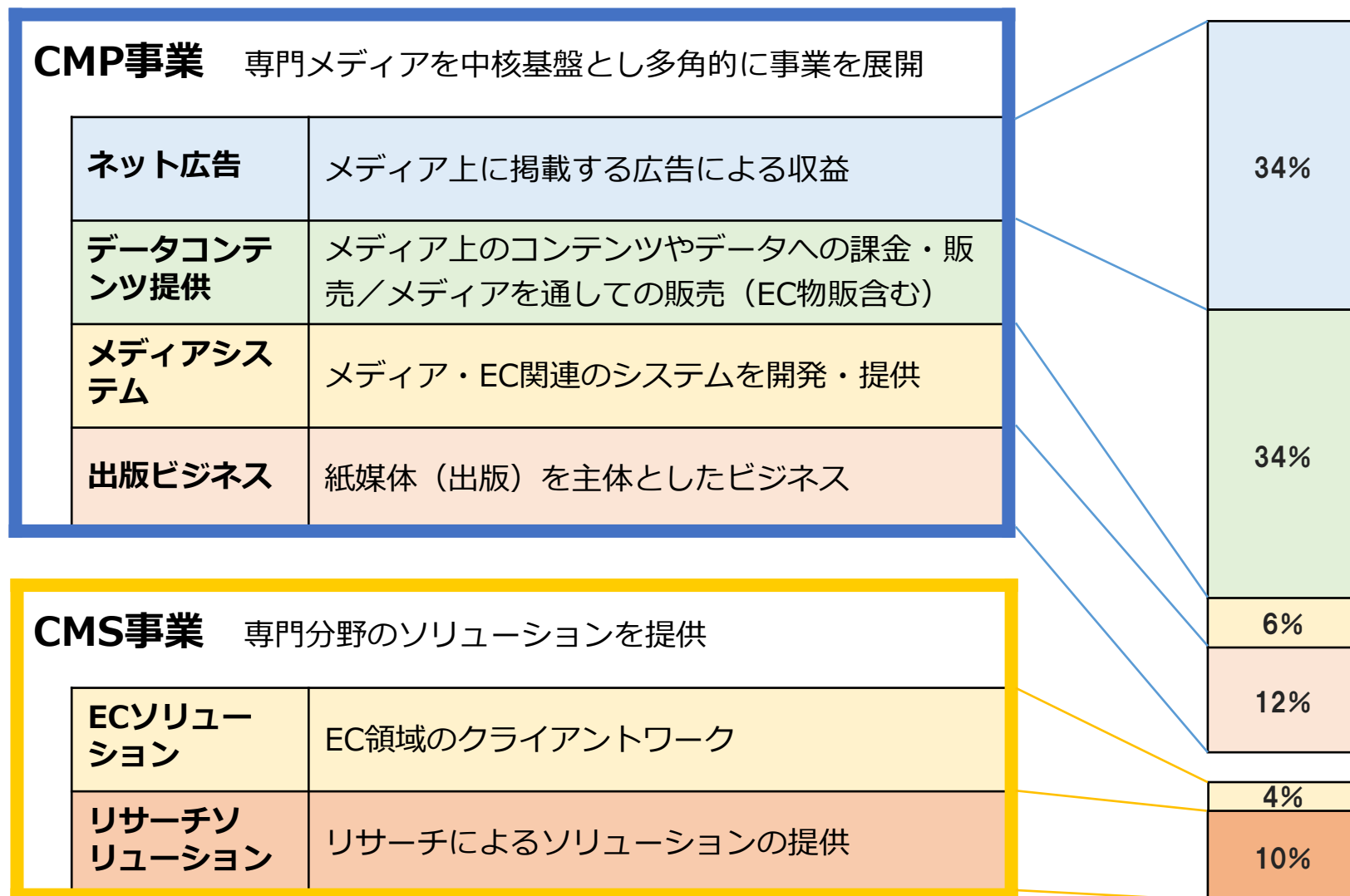
※7月1日より連結子会社化





2つの事業セグメント／6つの主要RD

各主要RDの通期売上高シェア



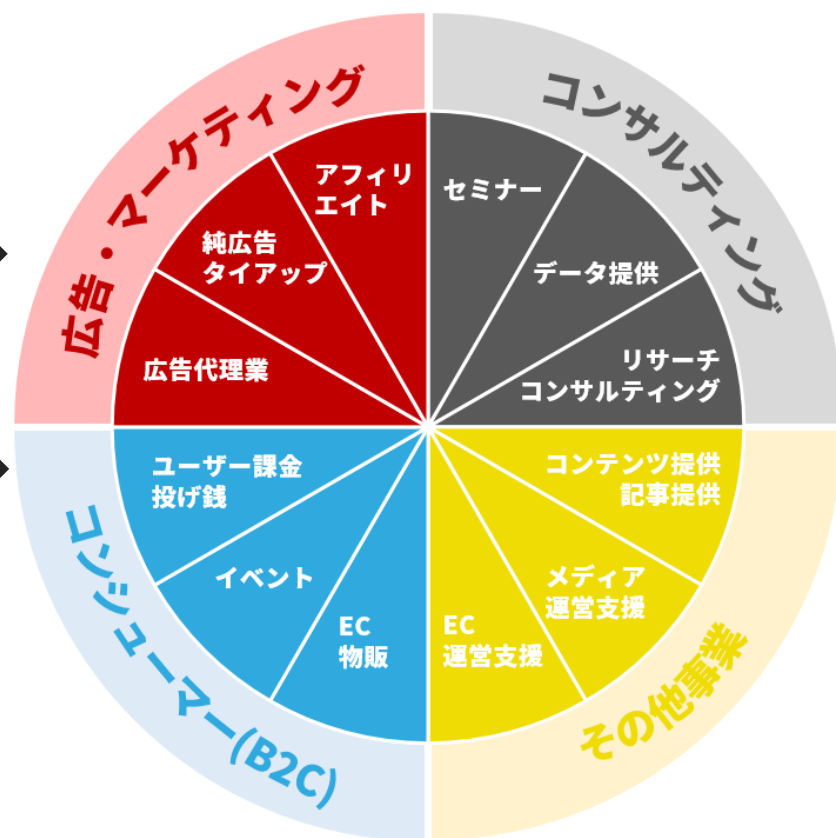
手掛ける領域とビジネスモデルの掛け算で事業を拡大 いずれも事業開発とM&Aで継続的に拡充していく

手掛けるメディア・事業の領域

IT	ビジネス	セキュリティ
自動車・バイク	燃費・環境	エンタメ
ゲーム	映画	アニメ
スポーツ	教育	マネー
地域情報	ライフ・ペット	EC・通販
ビジネスマッチング	キャラクター	リサーチ
ユーザビリティ	ダイエット	結婚情報



360度のビジネスモデル



手掛ける領域を拡大することで
事業機会を最大化



360度にビジネスモデルを拡張する
ことで収益の多様化を図る

21ジャンル70のメディアを運営 成長性の高い分野に投資、価値あるユーザーに常にリーチ

IT	ビジネス	セキュリティ
自動車・バイク	燃費・環境	エンタメ
ゲーム	映画	アニメ
スポーツ	教育	マネー
地域情報	ライフ・ペット	EC・通販
ビジネスマッチング	キャラクター	リサーチ
ユーザビリティ	ダイエット	結婚情報

- ・専門性が高く広告価値の高いメディア群
- ・ユーザー接点が多く良質なデータを保有
- ・常時ポートフォリオの入れ替えを行い高収益のメディアを人材効率高く運営

FY21下期に開始した主な事業

自動車・バイク 事業開発

mirai.Response

モビリティ・スマートシティ
ビジネス関連の会員制新メディア

ライフ・ペット M&A

食事宅配ライフ

デリ食ナビ

食事宅配・食材宅配の情報メディア

専門領域に特化したメディアに360度のビジネスモデルを構築 広告に依存しない、ビジネスモデルを継続的に拡充

mirai.Response

モビリティ・スマートシティビジネス関連の
会員制新メディアを開設



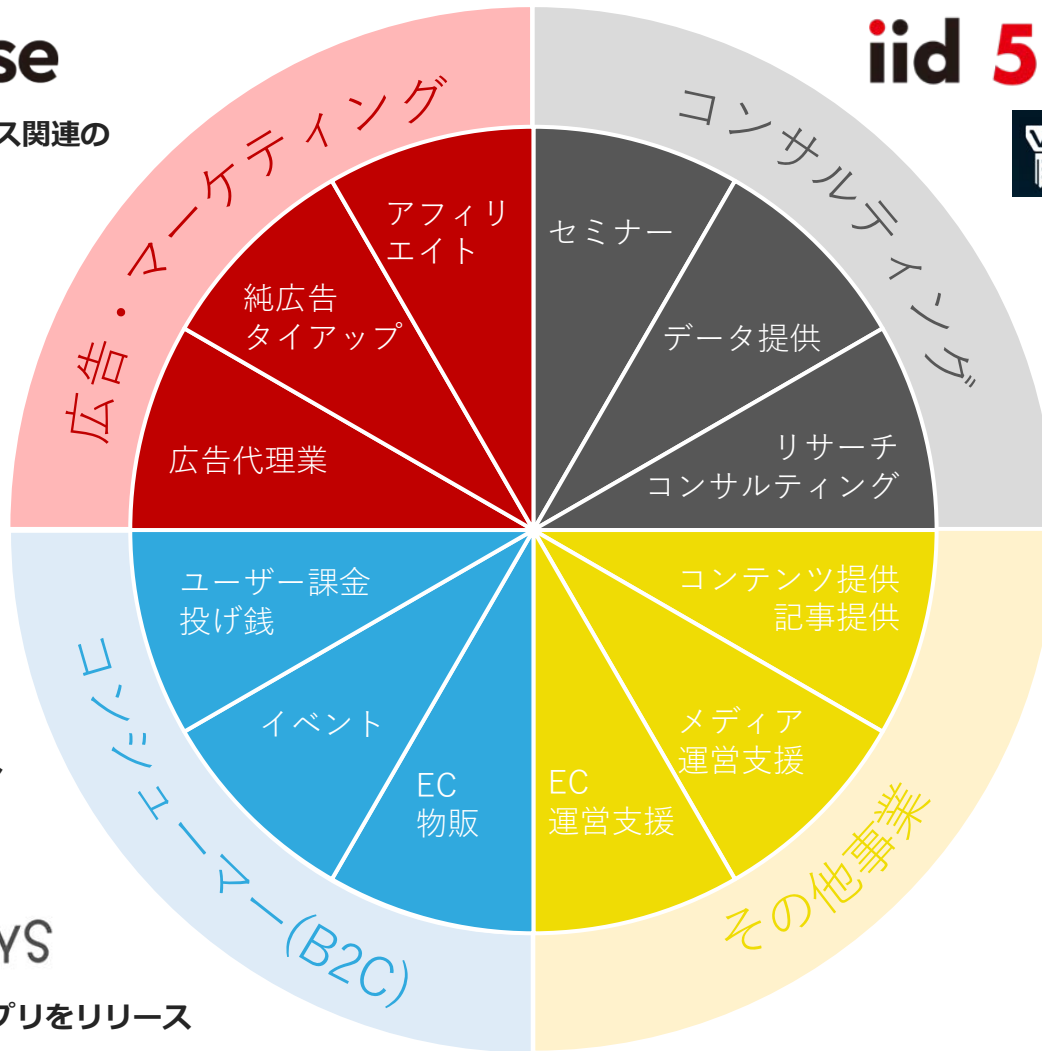
ライフスタイル案件に特化した
ASPサービスを開始



教育ジャンルを中心に、オンライン
でのセミナー/イベントを開催



iPhone用きせかえウィジェットアプリをリリース



iid 5G Mobility



スマホを車の鍵として使える
「バーチャルキー」をモビリティ
サービス事業者提供

越境型研修サービス

複業留学

従業員の越境活動を促す
新たな研修サービスを開始

～編集者が選んだ“美味しさ”届けます～



雑誌ブランドを活用したグルメ
通販事業を拡充

・ M&Aなどで新たに加わったメディアを「iid-CMP」にて運用

M&Aによる取得



新規事業開発



iid - CMP

イード・コンテンツ・マーケティング・プラットフォーム

集客

マネタイズ

ローコストオペレーション

コンテンツマネジメント

新規加入メディアのグロースと早期収益化を促進

・「iid-CMP」の4つの機能で、早期収益化を実現

① 集客

- ・ SEO施策
- ・ SNS対応
- ・ Webページ高速表示
- ・ 最適なユーザビリティ、ユーザーエクスペリエンス

 **売上UP**

② マネタイズ

- ・ ネットワーク広告の最適化
- ・ 広告商品開発
- ・ 営業リソースの投入
- ・ 既存メディアとのクロスセールス

 **売上UP**

③ ローコストオペレーション

- ・ システムの共用、CPUリソース分散機能
- ・ ポータルサイトへのニュース記事提供フォーマット共有化
- ・ 記事交換機能

 **コスト最適化**

④ コンテンツマネジメント

- ・ ニュース記事、ニュース写真投稿
- ・ 文章校正、類似度チェック、盗用コンテンツの公開防止

 **編集効率化**

- 1 21年6月期 通期業績の概要
と 今後の見通し P.2
- 2 事業セグメントと基本戦略 P.17
- 3 22年6月期に向けた取組み P.27
- 4 基本情報 P.35

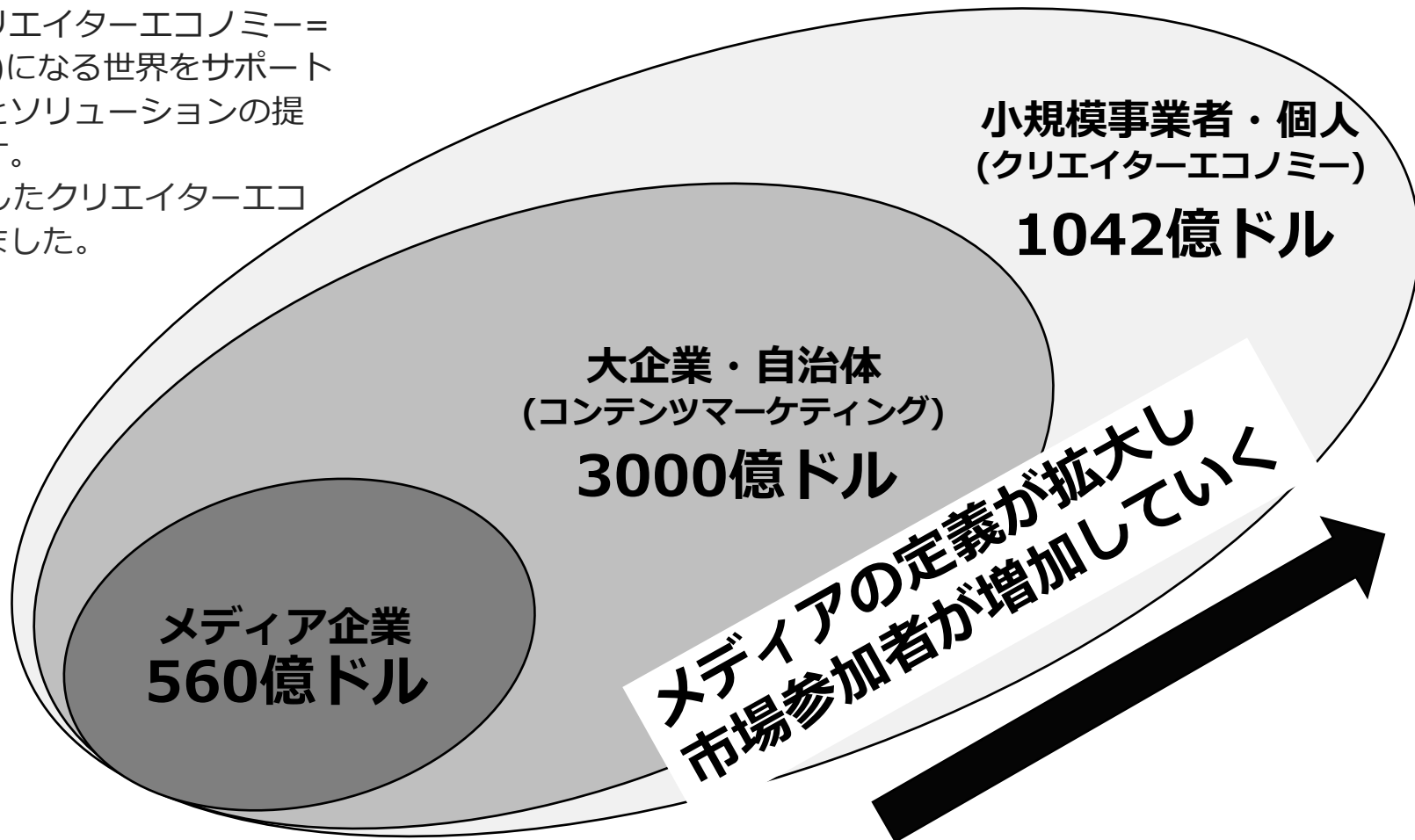


誰もがメディアになる世界=クリエイターエコノミー メディアの次の成長領域として積極的に取り組んでいく

イードでは勃興するクリエイターエコノミー=誰もが発信者(メディア)になる世界をサポートするプラットフォームとソリューションの提供を推進してまいります。
2021年8月に正式発足したクリエイターエコノミー協会にも加盟しました。



クリエイター
エコノミー協会
Creator Economy Association

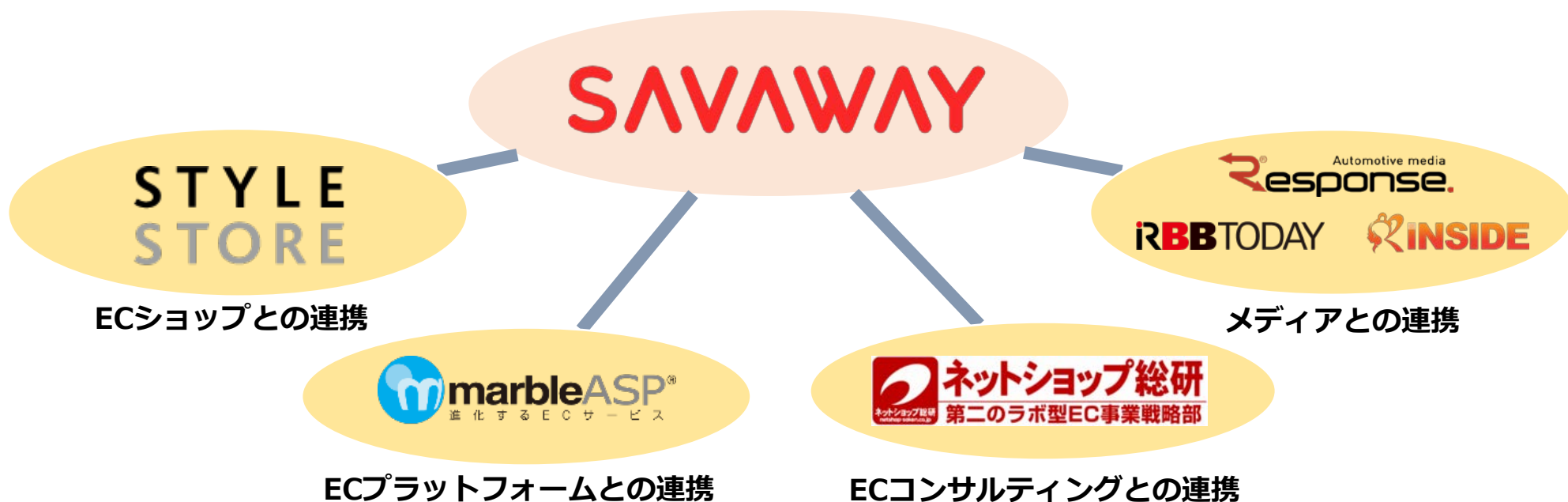


デジタルメディアの市場規模予測(2021年) <https://www.thebusinessresearchcompany.com/report/digital-publishing-global-market-report-2020-30-covid-19-implications-and-growth>
コンテンツマーケティングの市場規模(2020年) <https://www.businesswire.com/news/home/20210126005925/en/Global-Content-Marketing-Market-Trajectory-Analytics-Report-2020-2027-Lead-Generation-is-Projected-to-Account-for-US295.1-Billion-of-the-Total-829.6-Billion-Industry---ResearchAndMarkets.com>
クリエイターエコノミーの市場規模予測(2021年) <https://influencermarketinghub.com/creator-earnings-benchmark-report/>

ECショップの一元管理システム「TEMPOSTAR」を展開 ECのトータルマーケティング支援サービスを目指す



複数ECショップの一元管理サービス「TEMPOSTAR」を提供するNHN SAVAWAY株式会社の全株式を取得し子会社化。イードグループの既存のEC関連アセットにSAVAWAYのECサポート事業、「TEMPOSTAR」事業が加わることで、今後はECシステム、複数ECショップ管理、ECコンサルティング、ECサイト運営など、EC領域をより幅広くカバーし、メディア事業に並ぶ事業の柱としてEC関連事業をさらに強化してまいります。



レンタカー事業者を中心に「バーチャルキー」の利用広がる 非接触・非対面のサービス展開に貢献

「iid 5G Mobility」の取り組みの一環として株式会社ジゴワッツと共同開発した、スマートフォンをクルマの鍵として使える「バーチャルキー」は、2020年2月に初めて民間のカーシェアサービスに採用されて以降、着実に利用範囲を広げています。2021年に入って以降も、オートアフターマーケット協議会との連携によるカーシェアリングサービス「Patto」、Jネットレンタカーの無人化に向けての実証実験、J-ウィングレンタリースが運営する「スカイレンタカー・スマートサービス」など、非接触・非対面でのレンタカーサービス展開に貢献しています。



業界団体との連携

2021年1月
サービス開始



オートアフターマーケット協議会の会員企業であるセンチュリーオートのカーシェアリングサービス「Patto」

レンタカーでの利用

2021年3月
実証実験開始



J-netレンタリースが運営するJネットレンタカーの無人化に向けての実証実験

レンタカーでの利用

2021年7月
サービス開始



J-ウィングレンタリースが運営する非接触非対面の「スカイレンタカー・スマートサービス」

全国3万店舗以上(※)のコンビニエンスストアでエンタメコンテンツをオンデマンドで印刷できる「エンタメプリント」のサービスを開始



全国のコンビニエンスストアに設置されているマルチコピー機から、アニメ、ゲーム、声優などのブロマイドをはじめとした様々なジャンルのコンテンツを購入・プリントできる「エンタメプリント」のサービスを開始。今年40周年を迎えた雑誌「アニメディア」をはじめ、イードが展開するアニメ、ゲーム、映画などに関連するコンテンツを続々展開していく予定です。

第一弾は映画「マクロス」の入場券付きブロマイド

2021年8月
サービス開始

「エンタメプリント」の第一弾は、人気のSFアニメーション「マクロス」シリーズの今秋公開予定の最新作『劇場版マクロスΔ 絶対LIVE!!!!!!』（同時上映『劇場短編マクロスF ~時の迷宮~』）の前売券付きブロマイドです。ブロマイド部分は10種類のイラストの中から1枚がランダムで排出され、“何が出てくるか分からないワクワク感”を味わっていただけます。

今秋以降、様々なコンテンツの提供を予定しています。

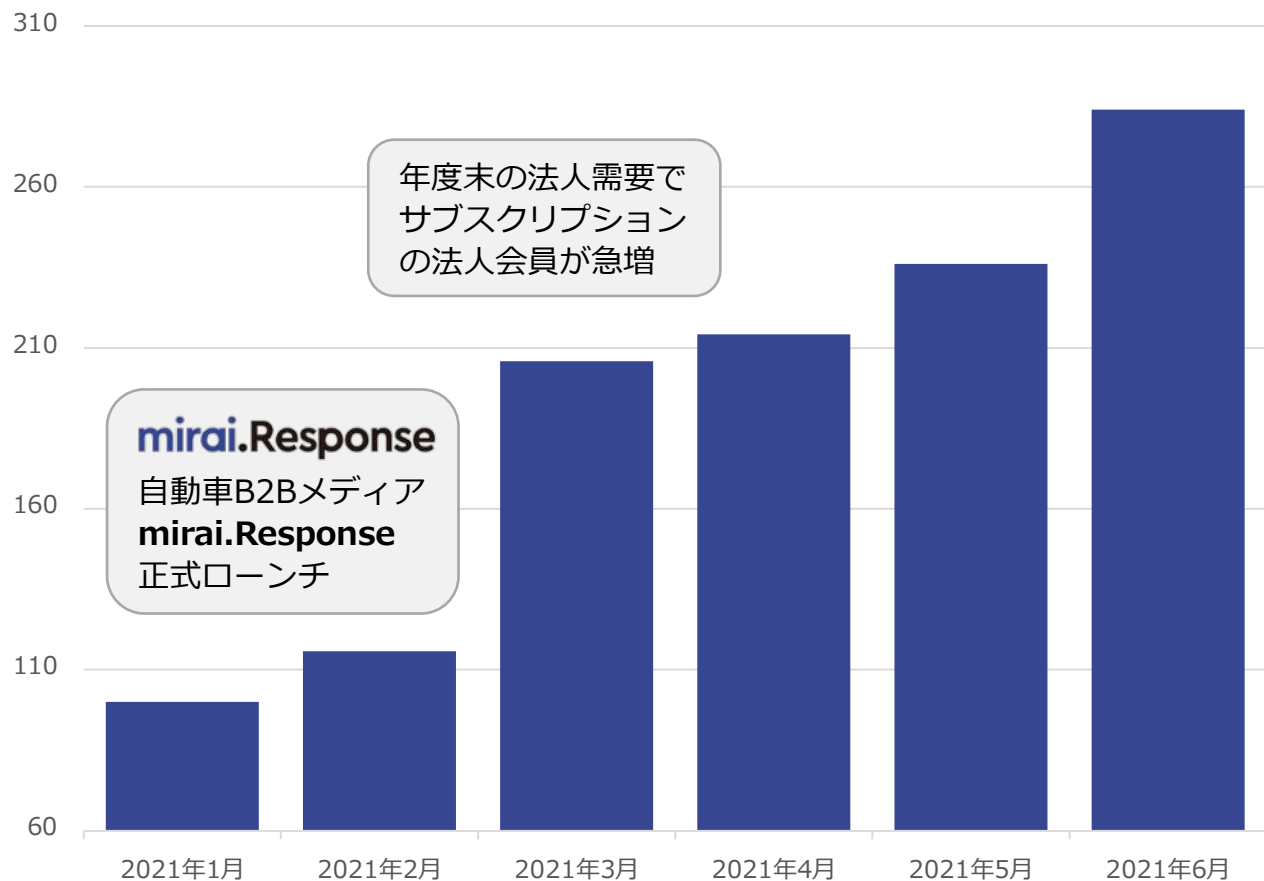


※エンタメプリントは全国のローソン、ファミリーマートの店舗で展開しています

メディアの360度ビジネスモデルの一環として、コンテンツをユーザーに対して有料で提供するサブスクリプションモデルを一部のメディアに導入

サブスクリプションを導入しているメディア

サブスクリプション課金の売上推移(2021年1月末=100)



※売上=年間換算した継続課金の総額(ARR)

mirai.Response

自動車業界に向けたニュース、レポート、セミナーなどを提供するB2Bメディア。CASE/MaaSなど最先端の自動車動向をレポートする。

ScanNetSecurity

創刊21周年を迎える日本初のサイバーセキュリティ専門ニュースサイト。情報システム部門にとどまらず、いまや経営課題となったセキュリティ動向を伝える。

Media Innovation

デジタルメディアのイノベーションを加速させる

誰もが情報発信に携わる時代に、メディアのコンテンツ、ビジネス、テクノロジーはどう変貌していくのか、ニュースや特集、セミナーで伝えていくメディア。

教育ジャンルにおけるオンラインセミナー/イベントが活況 リセママ10周年企画としても継続開催

教育

ReseMom リセママ 2021年6月開催

バーチャルスクールフェス 2021首都圏私立中高編

コロナ禍の受験校選びに悩む受験生とその保護者を対象にしたオンライン合同学校説明会。19校が参加し、多くの保護者と学生が学校紹介セミナーやブースでの説明に参加しました。

教育

ReseMom リセママ 2021年8月開催

リセママバーチャルサマーキャンプ2021 supported by スクールウィズ

株式会社スクールウィズとの協業で、コロナ禍でも留学を諦めたくない中学生・高校生を対象とした5日間のオンラインでの留学プログラムを実施。自宅とフィリピンを繋いで英語学習や現地を体験するものです。

映画

CinemaCafe.net 2021年7月開催

Let's Keep Updated vol.2 「『犬部!』殺処分&多頭飼育崩壊ゼロを目指すには？」

シネマカフェで、映画をきっかけに地球や自分たちの事を改めて考えてみよう、をテーマに「Let's Keep Updated」という新企画がスタート。第二弾は『犬部!』を題材に動物の殺処分について取り上げました。

絵本ナビが英語学習アプリ「絵本ナビえいご」をリリース エンファクトリーの「複業留学」が活況

株式会社絵本ナビ

英語の絵本を楽しみながら音声AIで発音練習できる英語学習アプリ『絵本ナビえいご』



絵本ナビは、昨年11月に世界最大級の金融グループマリットの1つであるSIGからの資本参加を受け、SIGの持つグローバルなビジネスネットワークを活用した事業展開の第一弾として、欧米大手出版社刊行の質の高い英語の絵本を楽しみながら、ゲーム感覚で音声AIで発音練習できる英語学習アプリ『絵本ナビえいご』をリリースしました。

株式会社エンファクトリー

越境型研修サービス「複業留学」



越境的活動の促進をサポートする「複業留学」の導入企業が着実に増えています。昨年7月のサービス開始以降、従業員の人材育成や成長機会の提供、自立支援などを目的として、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、パルコ、みずほビジネスパートナー、花王グループカスタマーマーケティングほか、複数企業で導入が広がっています。

- 1 21年6月期 通期業績の概要
と 今後の見通し P.2
- 2 事業セグメントと基本戦略 P.17
- 3 22年6月期に向けた取組み P.27
- 4 基本情報 P.35

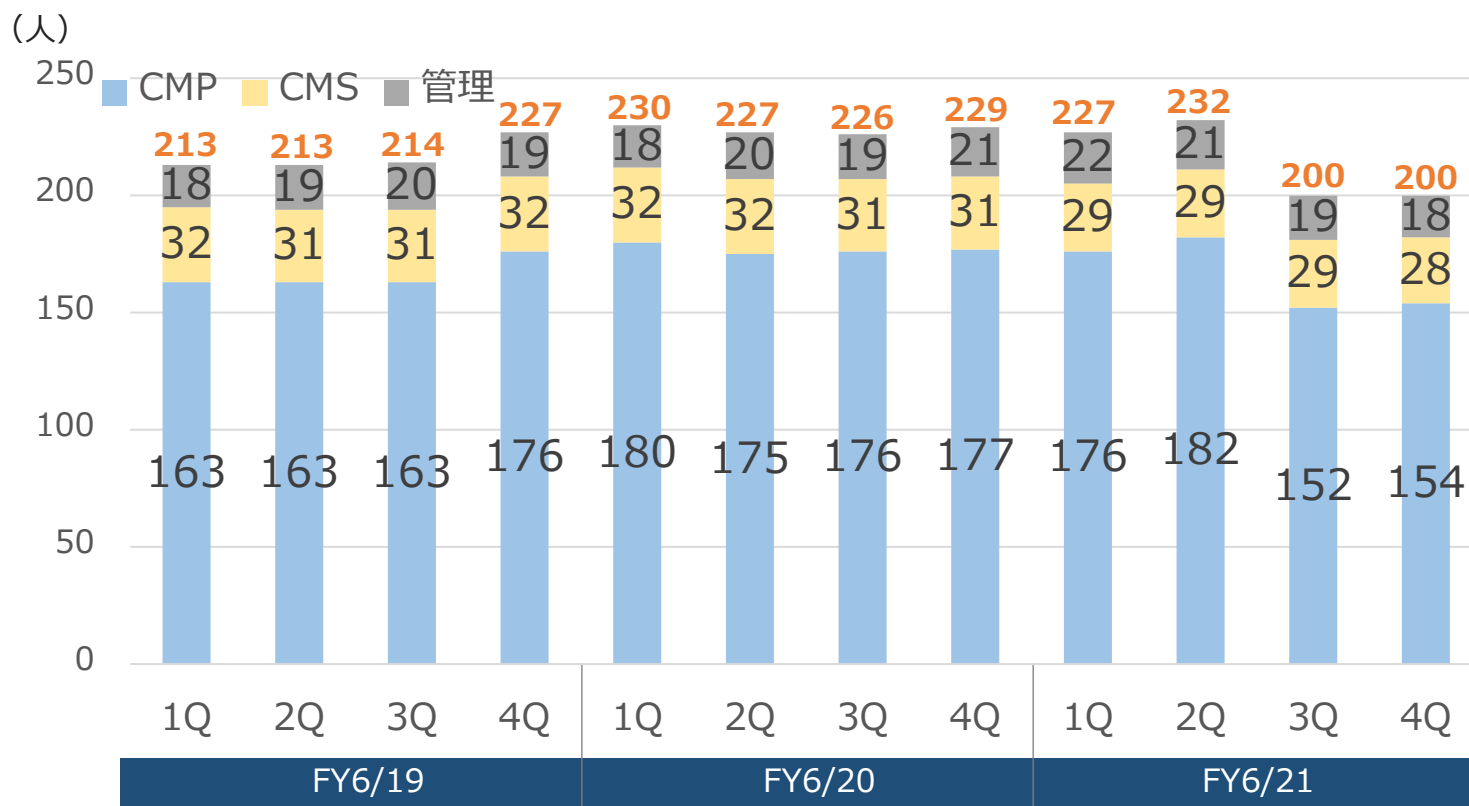


- 商号 株式会社イード (IID,Inc.) ※「IID」は“Interface In Design”の略です。
- 設立年月日 2000年4月28日
- 役員
 - 代表取締役 宮川 洋 (みやかわひろし)
 - 取締役 須田 亨 (すだとおる)
 - 社外取締役 大和田 廣樹 (株式会社ECBOスクエア 代表取締役会長)
 - 社外取締役 吉崎 浩一郎 (株式会社グローブ・イニシアティブ 代表取締役)
 - 常勤監査役 山中 純雄
 - 社外監査役 安達 美雄
 - 社外監査役 藤山 剛 (株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役)
- 子会社
 - 株式会社エンファクトリー (出資比率：78.8%)
 - Interface in Design, Inc. (同：100%) [所在地：米国ロサンゼルス]
 - 株式会社ネットショップ総研 (同：90.0%)
 - マイケル株式会社 (同：100%)
- 持分法適用
 - 株式会社絵本ナビ (同：30.9%) ※
 - SODA株式会社 (同：35.1%)

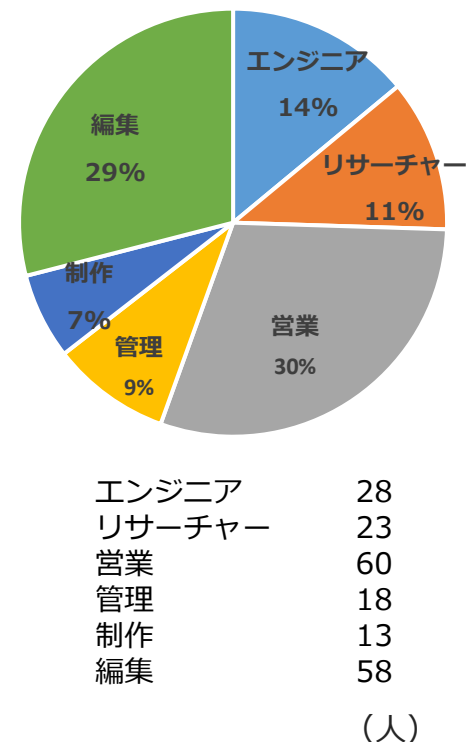
※株式会社絵本ナビは、当社保有株式の一部売却により、第2四半期会計期間の期末をみなし売却日として、連結子会社から持分法適用関連会社へ変更しております。
- 従業員数 連結：200名 (アルバイト含む)

・エンジニア、編集、制作で半数を占める構成

-セグメント別従業員数推移-
(臨時従業員含む)



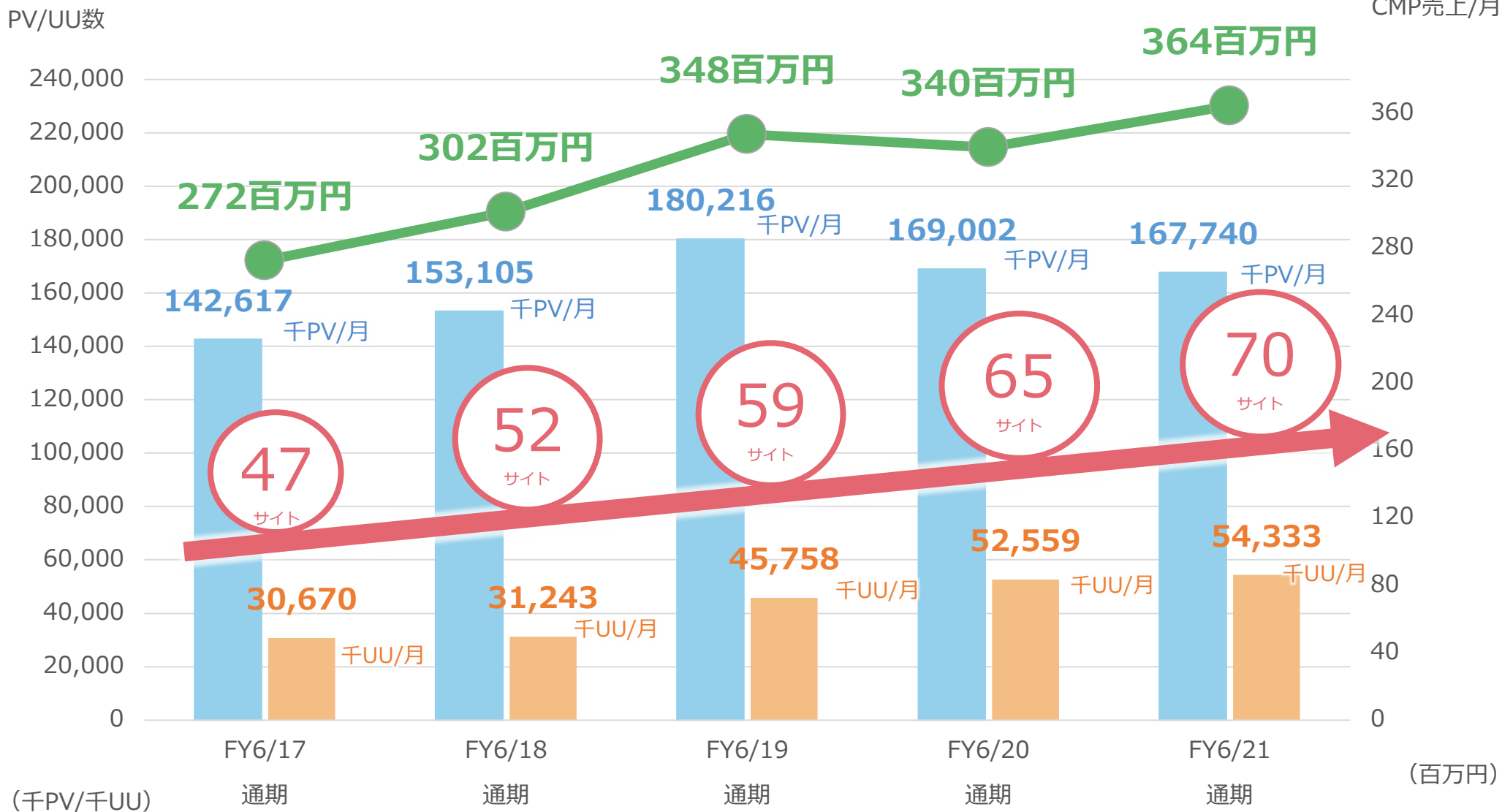
-職種別従業員構成-
(臨時従業員含む)



※株式会社絵本ナビは、当社保有株式の一部売却により、第2四半期会計期間の期末をみなし売却日として、連結子会社から持分法適用関連会社へ変更しているため、FY21_3Qより絵本ナビ人員数を除いております。

PV/UU・サイト数・売上 推移 ※FY6/21 期末現在

■ PV ■ UU ※PV数、UU数は対象期間月平均値
 ■ CMP事業（出版ビジネスは含まない）の月平均売上



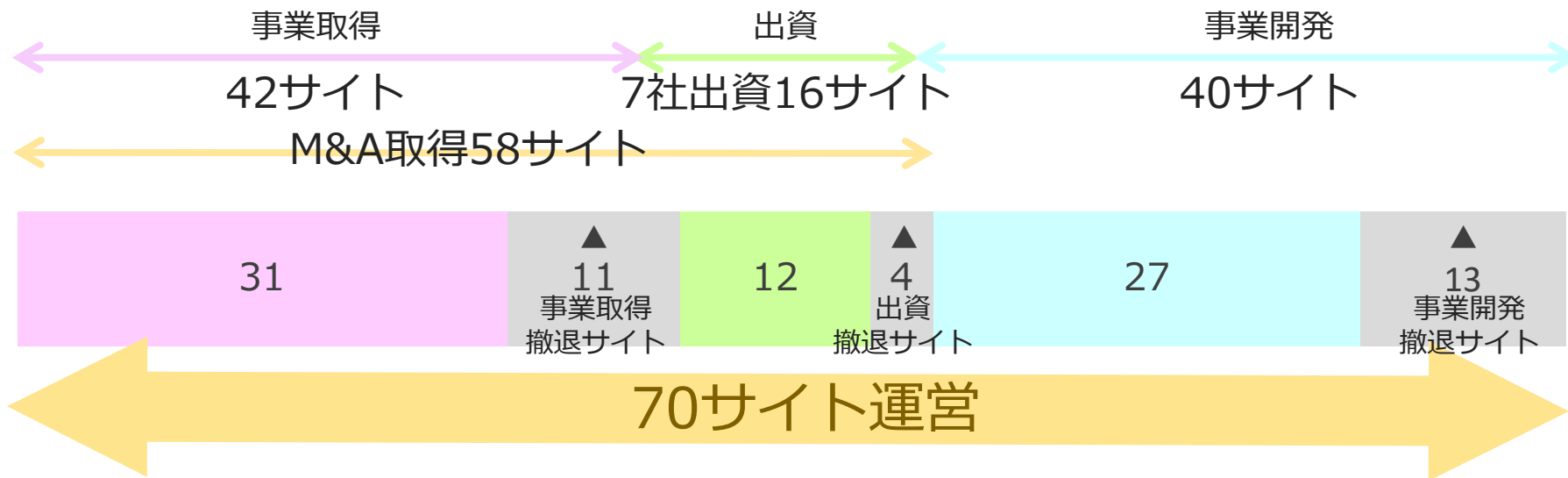
主要運営メディア



メディアジャンル

- IT
- ビジネス
- セキュリティ
- リサーチ
- ユーザビリティ
- 自動車
- 燃費・環境
- エンタメ
- ゲーム
- 映画
- アニメ
- キャラクター
- スポーツ
- 教育
- ライフ・ペット
- ダイエット
- 結婚情報
- マネー
- 地域情報
- EC・通販
- ビジネスマッチング

・ M&Aで58サイト取得。撤退サイトは15サイト。継続率 74.1%



● M&Aサイト実績

58サイトの取得総額は17億9,887万円。1サイト平均3,100万円で取得

事業取得総額 **9億9,359万円**

※撤退サイト含む

出資総額 **8億528万円**

※撤退サイト含む ※CMS事業及び出版事業は含んでおりません

● 戦略投資先 (抜粋)

新規事業領域での協業を目的に戦略的な出資を実施

- ・ note (株) : クリエイター向けC2Cプラットフォーム「note」を運営
- ・ キャンピングカー (株) : シェアリングエコノミー、MaaS領域
- ・ ロボットスタート (株) : 音声広告プラットフォーム領域
- ・ (株) エンペイ: 集金業務のキャッシュレス化を実現するFintech×SaaSプラットフォーム「enpay」を運営

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

iid

We are the User Experience Company.

株式会社 イード

www.iid.co.jp